

用途別標準使用量（アスベスト吹付け材厚み30mmとした場合）

●封じ込め

用途	希釈液標準使用量	希釈倍率	備考
封じ込め	4.8kg/m ²	重量比 原液：水=1.4：2	アスベストキラー

●除去時

用途	希釈液標準使用量	希釈倍率	備考
除去処理	0.2kg/m ²	3倍～10倍	アスベストキラー
気中散布	0.03kg/m ²	3倍～10倍	アスベストキラー
除去時集積材の飛散防止	0.1kg/m ²	重量比 原液：水=1.4：2	アスベストキラー

●圧縮固化

用途	希釈液標準使用量	希釈倍率	備考
除去処理	0.2kg/m ²	3倍～10倍	アスベストキラー
気中散布	0.03kg/m ²	3倍～10倍	アスベストキラー
除去時集積材の飛散防止	0.1kg/m ²	重量比 原液：水=1.4：2	アスベストキラー
圧縮固化	アスベスト吹付け材重量の20%相当		アスベスト吹付け材面積 × 厚さ × 見かけ比重 × 0.8

●製品性状等

外観	無色透明
荷姿	18Lハイブリット缶
重量	25.2kg
主成分	SiO ₂
PH	12.5
粘度	50～300mPa's
比重	1.38以上

粉碎試験データ（石綿粉じん濃度測定 分析結果報告書）

2025年 Lv1

2024年 Lv3

分析結果報告書		
報告書番号 69696 発行年月日 2025年10月17日		
株式会社技昇 殿		
計量証明事業 愛知県知事登録 第651号 株式会社 アイテック 愛知県小牧市小松守三丁目153番地 〒480-0828 TEL 0568-41-6226 FAX 0568-41-6276 環境計量士 安藤 良太郎		
ご依頼のアスベスト繊維濃度分析の結果を次のとおり報告いたします。		
業務名：アスベストキラー処理後の吹付け材中石綿粉じん濃度測定		
試料採取者：帝人エコ・サイエンス株式会社 池田 祐太		
採取年月日：2025年10月10日		
試料名：No.1 養生内, No.2 養生外		
受付年月日：2025年10月14日		
受付試料：47mmメンブランフィルター各1枚を郵送にて受取		
分析担当者：株式会社アイテックリサーチ 神谷 圭吾		
分析年月日：2025年10月15日～10月16日		
測定内容：アスベスト繊維濃度		
測定方法：アスベストモニタリングマニュアル（第4.2版） （令和4年3月 環境省水・大気環境局大気環境課）に定める 電子顕微鏡法にて実施した。		
測定機器：カーボンペーストによる含浸透（カーボンダイト） ：金葉JEC-550 日本電子 ：計数およびアスベスト測定 走査電子顕微鏡JSM-IT300 日本電子 ：エネルギー分散型X線分析装置 EX-9442064L13 日本電子		
吸引流量：1200L（ご依頼者からの指示値）		
測定結果：下表のとおり（詳細は様式2-1, 2-2, 3参照）		
	結果（f/L）	
	No.1 養生内	No.2 養生外
アスベスト繊維濃度	ND	ND
総繊維濃度	0.39	ND
クリソタイル	ND	ND
アモサイト	ND	ND
クロシドライト	ND	ND
トレモライト/アクチノライト	ND	ND
アンソフィライト	ND	ND
定量下限値（0.52f/L）視野数および吸引流量から設定している。		
※検出下限値 0.20（f/L）		
添付資料：様式2-1, 2-2, 3およびFSEM観察写真等		

分析結果報告書		
報告書番号 62333 発行年月日 2024年8月8日		
株式会社技昇 殿		
計量証明事業 愛知県知事登録 第651号 株式会社 アイテック 愛知県小牧市小松守三丁目153番地 〒480-0828 TEL 0568-41-6226 FAX 0568-41-6276 環境計量士 安藤 良太郎		
ご依頼のアスベスト繊維濃度分析の結果を次のとおり報告いたします。		
業務名：アスベストキラー処理後の気中石綿粉じん濃度測定		
試料採取者：帝人エコ・サイエンス株式会社 池田 祐太		
採取年月日：2024年7月29日		
試料名：No.1 養生内, No.2 養生外		
受付年月日：2024年7月30日		
受付試料：47mmメンブランフィルター各1枚を郵送にて受取		
分析担当者：株式会社アイテックリサーチ 神谷 圭吾		
分析年月日：2024年8月5日～8月7日		
測定内容：アスベスト繊維濃度		
測定方法：アスベストモニタリングマニュアル（第4.2版） （令和4年3月 環境省水・大気環境局大気環境課）に定める 電子顕微鏡法にて実施した。		
測定機器：カーボンペーストによる含浸透（カーボンダイト） ：金葉JEC-550 日本電子 ：計数およびアスベスト測定 走査電子顕微鏡JSM-IT300 日本電子 ：エネルギー分散型X線分析装置 EX-9442064L13 日本電子		
吸引流量：1200L（ご依頼者からの指示値）		
測定結果：下表のとおり（詳細は様式2-1, 2-2, 3参照）		
	結果（f/L）	
	No.1 養生内	No.2 養生外
アスベスト繊維濃度	ND	ND
総繊維濃度	ND	ND
クリソタイル	ND	ND
アモサイト	ND	ND
クロシドライト	ND	ND
トレモライト/アクチノライト	ND	ND
アンソフィライト	ND	ND
定量下限値（0.52f/L）視野数および吸引流量から設定している。		
※検出下限値 0.20（f/L）		
添付資料：様式2-1, 2-2, 3		

地球に優しく、人に優しいから安心・安全。

アスベストキラー



アスベスト封じ込め技術
無機質系含浸固化形石綿飛散防止剤

国土交通大臣認定：MAEN-0022

総販売元：



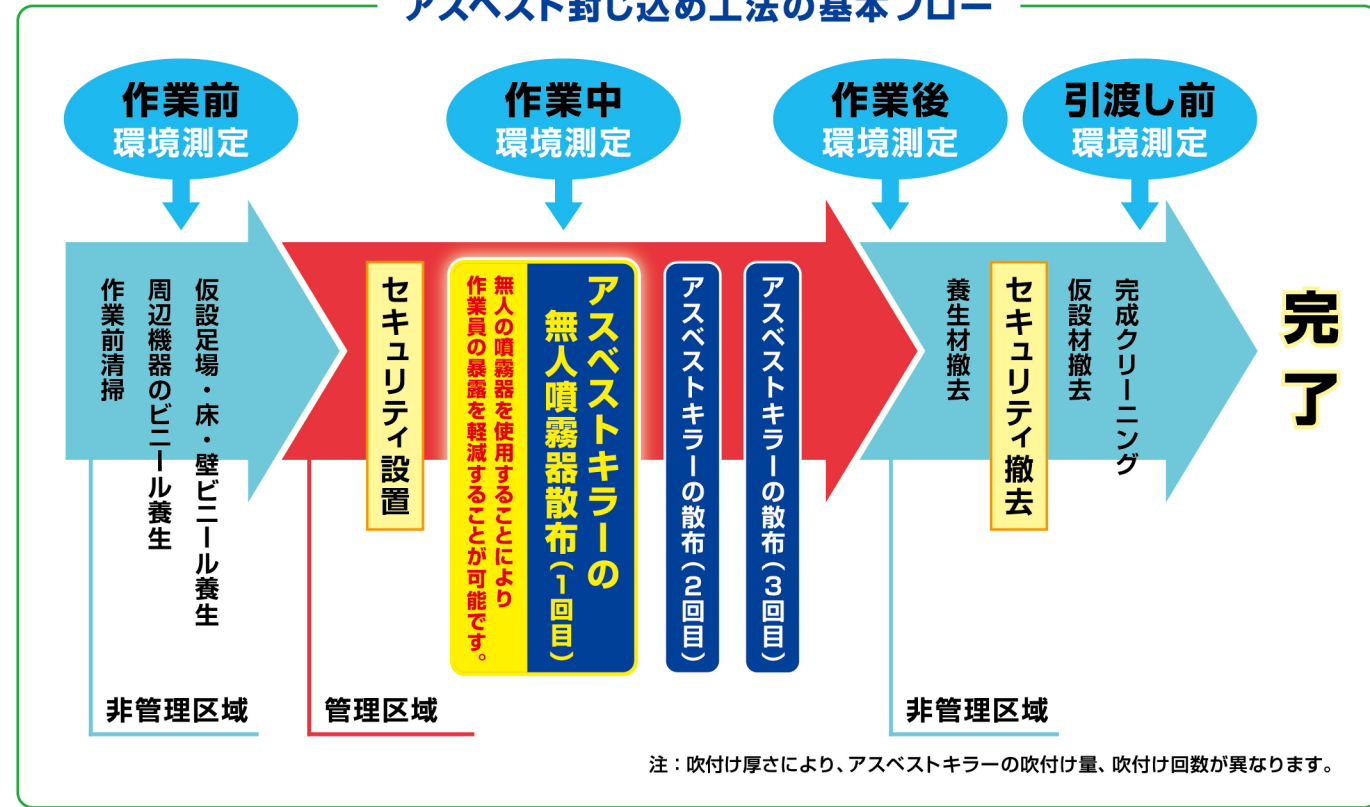
松山南本社 〒790-0963 愛媛県松山市小坂5丁目4-16-203
東京営業所 〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2丁目6-2
大阪支店 〒547-0022 大阪府大阪市平野区瓜破東8丁目8-13
海外支社 244 Fifth Avenue, Suite K251 New York, N.Y. 10001
問い合わせ先 TEL 0120-17-3588（フリーダイヤル）
E-MAIL info@gisyou.net



GISHO.CO.,Ltd.
株式会社 技昇

アスベスト封じ込め標準工法

アスベスト封じ込め工法の基本フロー



試験結果と考察

密度 0.3g/cm³、厚さ25mmの耐火被覆材を対象に弊社独自の
方法で強度比較をおこないました。

右図に示すとおり、無処理の場合と本システムによる施工後の
強度差は顕著なもので、いずれの試験に於いても無処理の場合と
比較し、倍の成果が得られました。

現位置引張り試験に於いては、
現材の強度が平均で $\tau = 12 \text{ g/cm}^2$ であったのに対し、
施工後は平均強度 $\tau = 34 \text{ g/cm}^2$ に向上できました。

また、表面金鍍による平滑さ及び表面の強張りは触感でも感じ
られ、安定性が確認できました。

《現位置引張り試験状況》



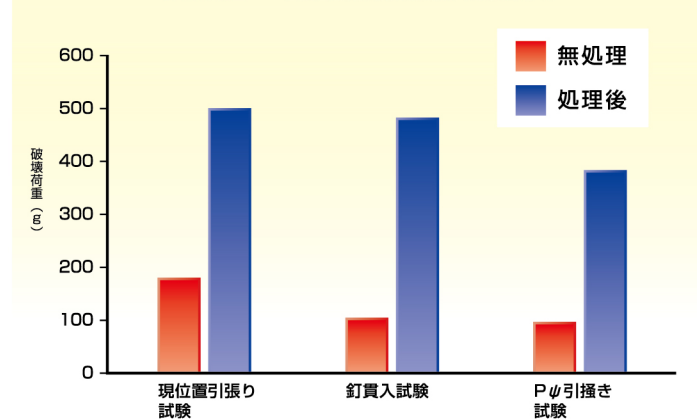
《釘貫入試験状況》



無処理

施工後

《硬化・付着強度測定結果》



【試験方法】

- ※1. 現位置引張り試験のプレートは4cm×4cmのプレートを使用。
- ※2. 釘貫入値は10mm貫入させた場合の荷重で、発泡スチロール ($\rho = 0.009 \text{ g/cm}^3$) で450g、スタイロフォームでは900g/(5mm貫入)であった。
- ※3. 引掻き試験は機材にフックを差込、フックを引張って引き抜く荷重を測定した。発泡スチロールの場合で1,400g、スタイロフォームでは3,700gであった。



ASK施工後6年 全厚封じ込め維持

6年後の釘貫入力 3kg (一軸圧縮強度換算 6.2kg/cm²)
施工時釘貫入力 6年 900g

財団法人 建材試験センター による 品質性能試験

■ エアーエロージョン試験結果

試験体番号	乾湿繰返し処理なし (f/L)	乾湿繰返し処理あり (f/L)
1	2.0	2.2
2	2.3	2.0
3	1.4	1.4
平均	1.9	1.9
吹付け面の外観観察	異常なし	異常なし



エアージェット試験結果

■ 衝撃試験結果

種類	試験体番号	外観	くぼみ深さ (mm)	脱落の有無
石綿飛散防止剤塗布	1	くぼみが認められた	6	無
	2	同上	7	無
	3	同上	8	無
	平均	—	7	—
無塗布	1	くぼみが認められた	11	無
	2	同上	10	無
	3	同上	11	無
	平均	—	11	—



石綿飛散防止剤塗布
衝撃試験結果

■ 付着強度試験結果

種類	試験体番号	付着強度 (N/cm ²)	破断深さ (mm)
石綿飛散防止剤塗布	1	4.68	25
	2	5.02	27
	3	4.87	24
	4	5.60	24
	5	3.97	18
	平均	4.83	24
無塗布	1	4.44	15
	2	4.24	6
	3	3.26	15
	4	3.68	31
	5	3.78	24
	平均	3.88	18



付着強度試験結果

荷姿



200L ドラム缶



18L 缶

アスベストキラーの長所

- 不燃性のため、むだな石綿の再吹付けの必要がなくなります。
- 産業廃棄物処理などの二次的負荷をなくします。
- 作業員の安全性を高めます。
- 除去工法に比べ、低コストを実現します。